

巻 頭 言

広島大学大学院教育学研究科
研究科長 坂 越 正 樹

『広島大学大学院教育学研究科紀要』第57号を刊行しましたので、ここにお届けいたします。

広島大学教育学研究科は、各種学校段階の教科領域はもとより、教育学・心理学、幼児教育から生涯学習まで多様なライフ・ステージでの教育の理論研究、実践研究を展開しています。しながら総合大学のように多様な研究がなされているため、研究科紀要は博士課程後期に設置する専攻にあわせて三部構成としています。本年度は、第一部「学習開発関連領域（学習開発学・初等カリキュラム開発学・特別支援教育学）」に19編、第二部「文化教育開発関連領域（自然システム教育学・数学教育学・技術情報教育学・社会認識教育学・国語文化教育学・英語文化教育学・日本語教育学・健康スポーツ教育学・人間生活教育学・音楽文化教育学・造形芸術教育学）」に49編、第三部「教育人間科学関連領域（教育学・心理学・高等教育開発学）」に41編の論文が掲載されており、昨年度をうわまわる多くの研究論文を収録することができました。各部分冊の巻末に、他の部の論文著者・題目を記載しておりますので、あわせてご参照いただけましたら幸甚に存じます。

毎年このような形で公刊する紀要は、研究科に所属する教員、そして大学院学生の研究の現在を如実に示すきわめて重要な知の集積であり、最新の研究情報を社会に発信する大切な媒体です。教員、学生はそれぞれ専門とする学会等で個別に研究成果を公表し評価を受けていますが、それらの研究が研究科として紀要に集約されることには大きな意義があります。この紀要は、いわば教育学研究科の「研究面での顔」にはかなりません。それだけに掲載される研究論文の質を高いレベルで維持し、さらに向上させる努力が常に求められます。皆様から忌憚のないご批判、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。

また冊子体の紀要とともに、ここに掲載された論文は広島大学図書館ウェブサイト「広島大学学術情報リポジトリ（<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/portal/>）」にも収録されており、一覧検索やダウンロードが可能です。関心をお持ちくださいました執筆者の過去論文や関連するテーマの他論文もお読みいただくことができますので、ぜひご活用ください。

最後に、教育学研究科紀要に関心をお寄せいただき手にとってくださった読者各位、貴重な研究成果を論文として投稿してくださった執筆者各位に心より御礼を申し上げます。そして、限られた時間と人員で大部の編集作業を完遂してくださった担当委員の各位には、正確迅速に作業をすすめていただいた結果、本号紀要を早期に刊行することができました。皆様に感謝を申し上げ、巻頭言に代えさせていただきます。